



少年時代、誇り高い日本人と楽しい時間を過ごしたフィリピン人著者が、その真実の姿と、崇高な精神について語った。
「長い間フィリピンを植民地としてきたスペインやアメリカに比べれば、日本のフィリピン支配はほとんどないに等しいものでした。日本は、そのたった四年の間にカミカゼ精神をもたらしてくれました。それは、フィリピンにとって最良のものでした。」アジア孤高の精神カミカゼの心!

著者 ダニエル・H・ディソン
B6判 並製カバー装 360頁
定価 1470円 (本体1400+税)
ISBN978-4-434-11121-1 C0095
桜の花出版発行/星雲社発売

全国の大型書店にて取り扱い中。
店頭が無い場合はお取り寄せください。



表紙にはディソン氏が描いた当時の日本軍将兵の絵を使用。

フィリピン少年が見た カミカゼ

幼い心に刻まれた優しい日本人たち

ダニエル・H・ディソン著

アジア孤高の精神カミカゼの心!

神風特別攻撃隊が最初に飛び立った地、フィリピンマバラカットに、私費を投じ同志を募ってその記念碑を建立したダニエル・ディソン氏。少年時代、誇り高い日本軍人と楽しい時間を過ごしたフィリピン人著者が、その真実の姿と、崇高な精神について語った。

(本文より)

「長い間フィリピンを植民地としてきたスペインやアメリカに比べれば、日本のフィリピン支配はほとんどないに等しいものでした。日本は、そのたった四年の間にカミカゼ精神をもたらしてくれました。それは、フィリピンにとって最良のものでした。」

「私の家にある小さなカミカゼ博物館には、定期的に高校生や大学生が訪問しますが、私はカミカゼ精神とはアジア人が到達しうる究極のものであることを、彼らに教えています。カミカゼの精神は、自らのアイデンティティ、自らの名誉や文化を守るために、自らの命を引き替えにするとところまで、人は到達することが出来るのだ、ということを示しているのです。」

PROFILE

ダニエル・H・ディソン

1930年フィリピン・マニラ市に生まれる。父・ヴィンセンテ・ディソン氏は著名な芸術家。その後アンヘレス市に移る。11歳の時に第二次世界大戦(大東亜戦争)が勃発し日本軍の将兵達と出会う。戦後は高等学校に進学し、卒業後10年以上電気会社に勤務するが、フィリピン大学美術学部の奨学生試験に合格し入学。大学在学中に歴史学に興味を持ち、植民地時代以前のフィリピンの歴史を調べ始める。卒業後に旧日本軍の神風特別攻撃隊の事実衝撃を受け、特攻隊および日本の歴史の研究に没頭。1974年に特攻隊が史上初めて発進した地、マバラカットにその記念碑を建立。現在も歴史研究を続け、一方で自宅に開設した「カミカゼ博物館」で地元の子供達に特攻隊の精神とその意義を説いている。



ディソン氏の自宅にあるカミカゼ博物館には、氏が集めた神風特攻隊のコレクションや氏が描いた特攻隊員の絵が陳列されている。



日本からも多くの人が訪れている。

国がどこへ行こうとしているのかが見えないのは、哀しいものです。
 私たちがどこへ向かえばいいのかわからないのは、不安なものです。
 日本と日本人の将来を考えた時、少なからず暗澹たる思いに駆られるのは、この日本というシステムの
 何かが間違っているからではないでしょうか。その何かの根幹と思われる日本人の精神形成を探るの
 が、本シリーズ「日本人の誇り」の刊行目的です。 (シリーズ刊行にあたって より)



日本人はとて素敵だった
 -忘れ去られようとしている日本国とい
 名を持っていた台湾人の心象風景

シリーズ NO.1
 ロングセラー!

楊 素秋
 ●1,365円
 4-7952-7689-7

「日本人は、日本人であることを大いに誇っていいのです。昔の日本精神はど
 こにいったのですか！ 私はそう叫びたいのです」日本を心の故郷と慕う台湾人
 女性が語った、かつての立派な日本人像とは。



帰らざる日本人
 -台湾人として世界史から見ても日本の台湾統治は
 政策として上々だったと思います

蔡 敏三
 ●1,470円
 4-434-05626-3

日本の台湾統治は、西欧列強の植民地的感覚の統治とは全く違い、国を治めると
 いうような腹太い政策でやっていたのです…。終戦まで日本人として生き、戦後
 台湾に残った「帰らざる日本人」の告白。



母国は日本、祖国は台湾
 -或る日本語族台湾人の告白

柯 徳三
 ●1,470円
 4-434-06654-4

「昔、台湾は日本だったんですよ。台湾と中国大陸は違うんです」日本による
 五十年の統治で見違えるほど立派な文明国になった台湾。当時を生きた台湾人
 が語る日本統治時代、そして「日本精神」。



**素晴らしかった
 日本の先生とその教育**

楊 應吟
 ●1,470円
 4-434-08252-3

台湾で日本教育を受け、学徒出陣して終戦を迎え、鍼灸治療を介して日台の交
 流にも活躍する著者が見た「尊敬に値する日本人」。現代の日本を憂い叱咤す
 る心の裏に、日本への期待が察せられる一冊。



**インドネシアの人々が証言する
 日本軍政の真実**
 -大東亜戦争は侵略戦争ではなかった

桜の花出版編集部
 ●1,470円
 4-434-08579-4

オランダの植民地支配による暗黒の時代からインドネシアを抜け出させ、独立
 を勝ち取るのに大きく貢献したのは日本だった。戦時中、日本軍と深く関わっ
 たインドネシアの人々が語る日本軍の真実。

「シリーズ 日本人の誇り」は、全国の大型書店にて取り扱い中。店頭が無い場合はお取り寄せください。



愛する日本の孫たちへ
 ~かつて日本人だった台湾日本語族の証言集1~

好評発売中!

聞き手 猪股る一
 ●1575円 978-4-434-10377-3

韓国に住み、強烈な反日感情を目の当りにした経験から、日本の統治時代に興味を持った
 著者が台湾で出会った「日本語族」。日本語を日常語として使い、日本を心の故郷と慕う
 彼らの熱い想いと、波乱に満ちた人生を綴る。小林よしのり氏の『台湾論』でも紹介され
 た蔡焜燦氏や許文龍氏他11人のインタビューを収録。